愛知教育大学卒業論文概要（2017 年 3 月 31 日）

石川県金沢市における観光ボランティアガイドの地理学的研究
―「まいどさん」を事例に―

村上　弘（地理学選修）

－目　次－

Ⅰ　はじめに
1．研究の背景と目的
2．従来の研究と問題の所在

Ⅱ　観光ボランティアガイドの全国的動向
1．観光ボランティアガイドの性格
2．観光ボランティアガイド団体の組織的特徴

Ⅲ　石川県と金沢市おける観光政策の特徴
1．対象地域の概観
2．行政による観光政策と観光ボランティアガイド
1）石川県の観光政策
2）金沢市の観光政策
3．金沢市の観光ボランティアガイド団体「まいどさん」
1）設立経緯
2）組織構成
3）活動内容と実績

Ⅳ　「まいどさん」と観光客における「金沢観光」の比較分析
1．「まいどさん」にとっての金沢観光
1）観光ボランティアガイドの特徴
2）「まいどさん」による理想の金沢観光ガイドコース
2．「まいどさん」を利用した観光客にとっての金沢観光
1）ガイド利用者の特徴
2）ガイド利用者が巡った金沢観光ガイドコース
3．観光ボランティアガイドと観光客にとっての金沢観光の差異

Ⅴ　おわりに

－概　要－

本論文は，近年日本全国で設立され活動する「観光ボランティアガイド」団体を対象として，ガイド団体の発足経緯や活動内容の特徴を明らかにするとともに，ガイド自身が特定の地域や都市をどのように案内し，一方で観光客の側がガイド団体を活用していかに都市観光しているのかを明らかにしたものである．本論文では，2015 年 3 月に北陸新幹線が開業し，兼六園や金沢城公園などの歴史的建造物や金沢箔などの伝統工芸を主たる観光資源とする観光都市，石川県金沢市の観光ボランティアガイド団体「まいどさん」を事例に調査を行った．

まず，全国的な観光ボランティアガイド団体の動向を明らかにした．日本観光振興協会の資料によれば，2015 年現在，団体数は 1,688 団体，ガイドの人数は 43,996 人となっており，観光ボランティアガイドの団体数および会員数は増加傾向にある（図 1）．その一方で，1 団体あたりの会員規模は比較的小さな団体が多く，その点では会員数 300 名超の「まいどさん」はかなり規模の大きな観光ボランティアガイド団体であるということが分かった．全国の観光ボランティアガイド団体の活動実態や抱えている課題などを整理すると，一様にガイド後継者の不足と育成が大きな課題であることが理解されたが，その点でも行政が後継者育成システムを積極的に構築している金沢市の事例は，全国的にみてもかなり特異であることが明らかになった．その背景には，石川県と金沢

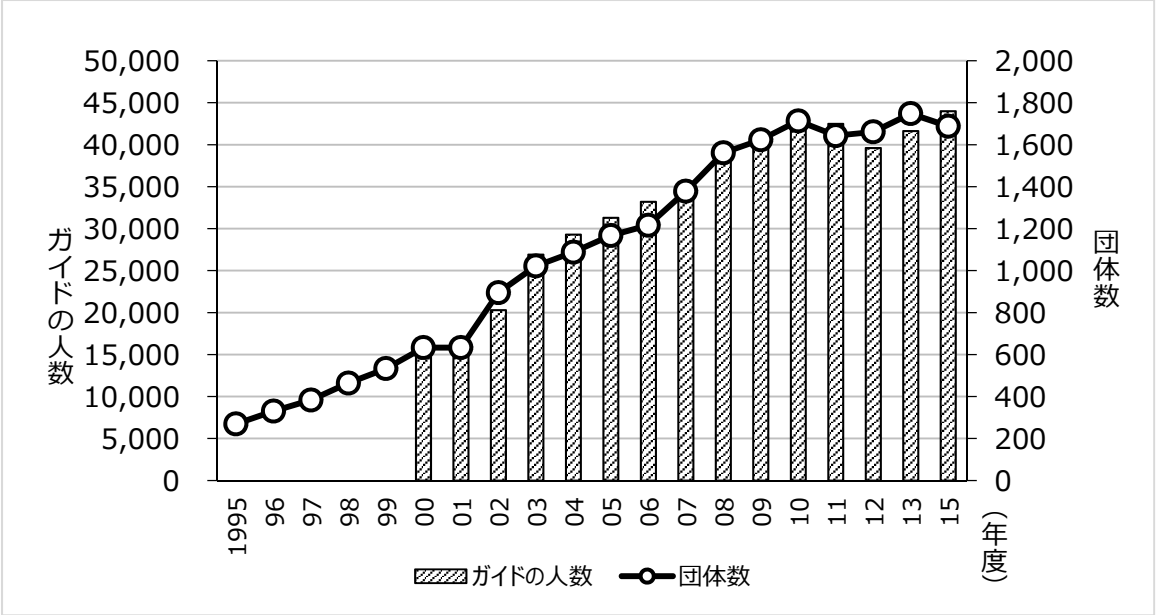


図 1　全国の観光ボランティアガイド人数と組織数の推移

（日本観光振興協会（2016）『平成 27 年度観光ボランティアガイド団体調査結果』より作成）

市がそれぞれの観光政策においてボランティアガイドを観光産業の重要な「担い手」として位置づけていることがあると，筆者の聞き取り調査から指摘できた．

次に，「まいどさん」のガイド会員と，ガイド利用者である観光客の双方にアンケート調査を行い，ガイド会員とガイド利用者のそれぞれが考える「金沢観光」の在り方の差異を分析した．その結果，ガイド会員とガイド利用者のあいだには金沢市の魅力に対する考え方や，ガイドの際に重視したい要素に違いがあることが分かった．たとえば，ガイド会員も利用者も「金沢市の魅力」には「歴史的な建造物・町並み」を最も多く挙げていたが，ガイド会員は「伝統工芸」，利用者は「食文化」と回答する者も多かった．また，ガイドに際してはガイド会員も利用者も「金沢市に関する知識を伝えること」を重視していたものの，ガイド利用者はガイド会員が重視していなかった「方言」や「話術」といった要素を求めていたことも分かった．

そして，このアンケート調査でもっとも大きな差異がみられたのは，「ガイド会員が案内したい理想の金沢観光コース」（図 2）と，「ガイド利用者が実際に案内してもらったガイドコース」（図 3）に関する項目であった．たとえば，ガイド会員によって選択された観光スポットは市内にまんべんなく散っており，

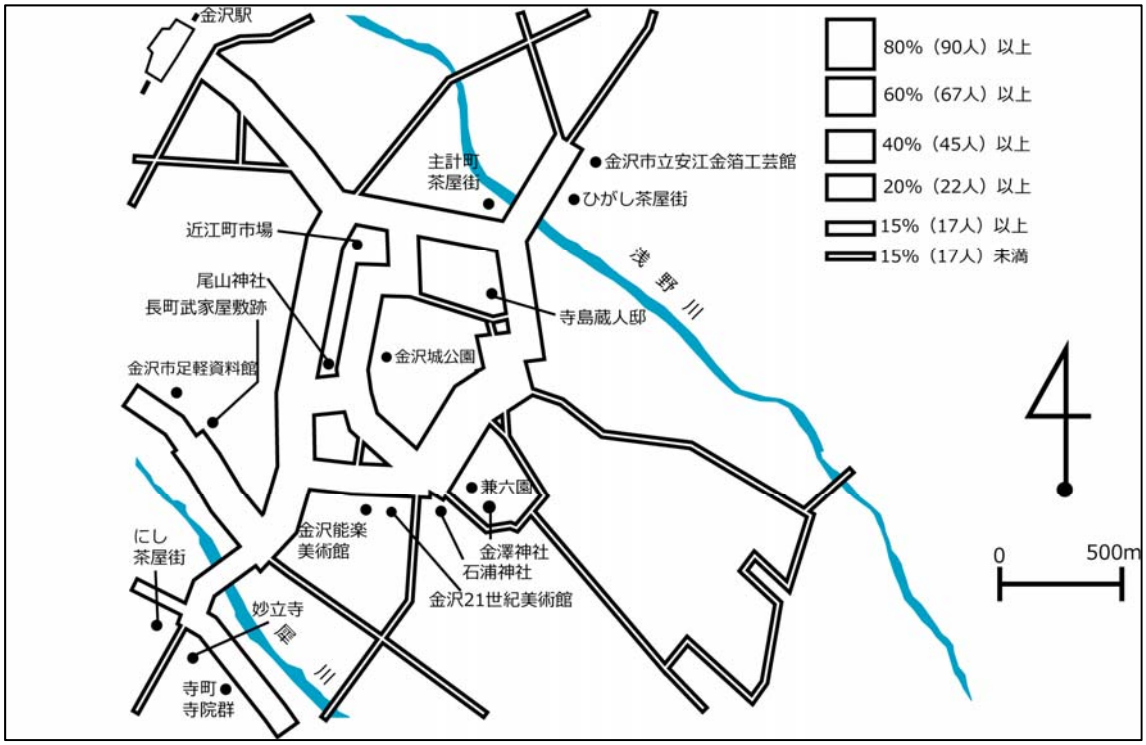


図 2　「まいどさん」の考える理想的ガイドコースと経路選択率

（「まいどさん」会員アンケート結果より作成）

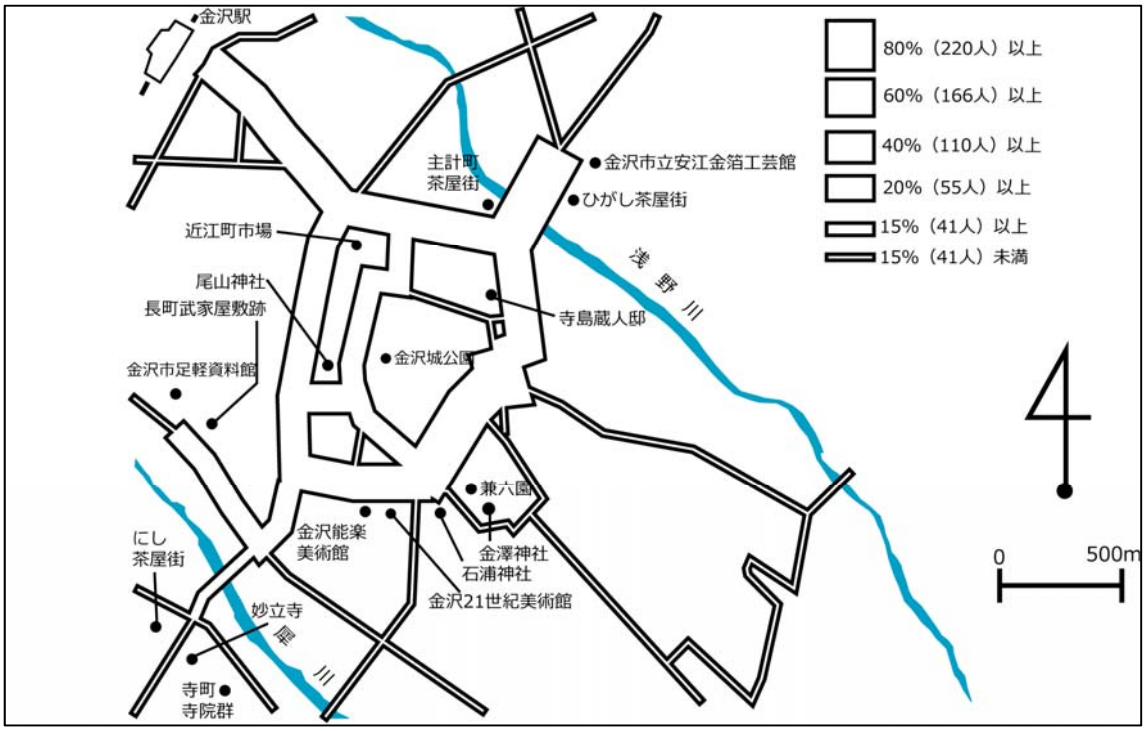


図 3　ガイド利用者の案内されたガイドコースと経路選択率

（「まいどさん」利用者アンケート結果より作成）

合わせて主要道の経路選択率も（犀川の南の一部を除いて）比較的大きな差がないことが分かる．これは，ガイド会員が金沢城公園や兼六園，長町武家屋敷跡，ひがし茶屋街など知名度の高い歴史的観光資源だけでなく，前田家ゆかりの尾山神社や，足軽資料館や金沢市立安江金箔工芸館，金沢能楽美術館などより専門性の高い伝統文化施設をコースに選択していることによる．反対に，ガイド利用者が案内されたコースをみると，観光スポットは兼六園周辺とその東側に集中しており，兼六園を越えて西側や南側の地点にまで足をのばしている観光客は少なかった．また，ガイド会員が多く選択していた足軽資料館などの専門的な施設を案内してもらっている回答者も，兼六園やひがし茶屋街など有名な観光スポットに比べて少なくなっている．

以上のことから，観光ボランティアガイド団体としての「まいどさん」は，ガイド利用者のニーズに合わせた観光コースを案内しながら，そのなかにいかにテーマ性をもった新しい金沢観光を提案していけるかが今後重要となろう．また一方で，観光客も地域の歴史や文化の特徴に目を向け，その地域を人柄も含めてより深く知ろうとする姿勢をもつことが新たな都市観光の成熟にもつながるはずだ，と本論文では結論づけた．

論文の問い合わせ先：
指導教官　阿部亮吾（地域社会システム講座　准教授）
aberyogo@auecc.aichi-edu.ac.jp